

RETURN TO NATURE

自然回帰による進化をめざして

International Symposium

April 26, 2022

Palace Hotel Tokyo

FUTURE BRAIN LAB

International Symposium

RETURN TO NATURE

自然回帰による進化をめざして

近代の工業主義社会は豊かで便利な暮らしの実現を目指し、多くの技術を育て高度に発達した大量生産大量消費の産業構造を築いて来ました。近年、地球規模での気候変動や環境問題が問われる中、私たちの文明における人間至上主義のあり方に対する省察が求められています。今回の国際会議では「本来の自然な暮らしや社会とは？」という命題のもと如何にして資源やエネルギー消費を抑えた中で豊かな暮らしを生み出せるのかという視点で再生循環型デザインにフォーカスしたデザインやテクノロジーが紹介されます。

開催日：2022年4月26日 (火) 13:30〜19:00

場所：パレスホテル東京 4F 山吹

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目1-1

プログラム

1, 「SHí-ZEN」TECHNOLOGY SESSION

超小集電技術の可能性や応用技術に関する講演

2, オフグリッド環境下での CO_2 SENSING

特別ゲスト：アナウンサー　笠井 信輔 氏、近藤 サト 氏

3, RETURN TO NATURE　「自然回帰からのデザイン発想」

NYC Compost, THE RIVER PROJECT 等、海外ゲストメンバーによる講演

4, 特設展示「MPC技術の最前線」

超小集電の最新技術や先端的研究の成果を展示

お申込方法

下記URLまたはQRコードよりお申込をお願い申し上げます。

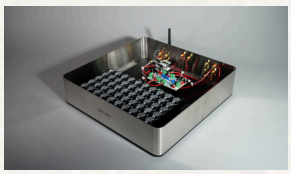
https://forms.gle/1d8pvxHZAp5pShpa9

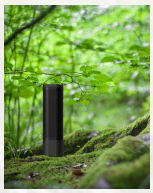
最新情報はトライポッド・デザイン株式会社のWEBサイトにてご確認の程お願い申し上げます。
https://tripoddesign.com

お問い合わせ先：FUTURE BRAIN LAB PROJECT
(トライポッド・デザイン株式会社内)
MAIL： info@futurebrainlab.com　TEL：03-3239-5951

「SHí-ZEN」TECHNOLOGY SESSION

ミライノデンキとも称されているエナジーハーベストの新たな選択肢と期待される超小集電技術の発想や技術開発の実態を通して、技術の可能性や周辺で応用技術に関して様々な角度から分析・アプローチします。






技術発表のテーマ

- **日常的に使える超小集電のデザイン**
- **スタンドアローン型電源：E-BULB 開発**
- **MECとCO_2センサの実証実験**
- **SHí-ZEN OFF-GRID DESIGN LAB計画**
- **超小集電を活用したエッジ AI 発想**
- **AQUAPONICS 新世代の農業**

オフグリッド環境下での CO_2 SENSING



アナウンサー
笠井 信輔 氏



アナウンサー
近藤 サト 氏

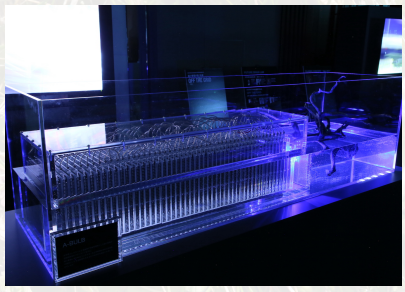
金砂地区のオフグリッド・テストサイトから実況中継を結んで超小集電を駆使したエッジ・AIの技術開発の可能性に挑戦する実装実験を紹介します。
※特別ゲスト、笠井信輔氏が森林や農地からCO_2センシング実験を実況中継で国際会議の会場へその開発の実態と今後の可能性を検証リポートします。

特設展示「MPC技術の最前線」

日常生活から社会基盤まで、新たな電力資源として様々な場面で社会支援をめざす超小集電の最新技術や先端的研究の成果を展示します。特設展示では過去３年間の開発経過をはじめとして、暮らしの中の照明からセンシング・デザイン、さらには災害時の電力サポートなど今後の超小集電と様々な産業技術とのマッチングを期待させる様々な技術局面での先端的挑戦や具体的な技術提案を展示公開します。

※特別展示コーナーでは新世代のアーティストにより制作された超小集電の自然にフォーカスしたイメージも展示します。





RETURN TO NATURE　「自然回帰からのデザイン発想」

FUTURE BRAIN LABが開設を目指す現地ニューヨークから社会の様々な場面で、環境デザインやエンジニアリングを実践的に牽引している事業家や研究者に「自然回帰による進化」というテーマに沿って、再生循環型社会や新たな産業構造のあり方などについて具体的な活動プロセスを通した成果や今後への課題について報告して頂きます。

「コンポスト事業の社会的必然性」・・・食品ロス問題への挑戦



Justin Green

Executive Director & Founder
Big Reuse and NYC Compost Project

NYC Compost Projectは、ニューヨーカーにとってコンポストが身近なものになるよう、家庭用生ゴミ回収場の運営や、地域のコンポスト施設と連携して地元でコンポスト作りを行っています。



https://bigreuse.org/pages/compost

「自然素材で社会環境を創る」・・・再生可能な建装材



Lola Ben-Alon

Assistant Professor of Architecture Technology and Director of the Natural Materials Lab at Columbia University

Natural Materials Labは、自然素材、低炭素素材、無害な建材を使った設計を推進しています。当ラボの研究は芸術、人文科学、工学のつながりを育むことで持続可能な未来を目指しています。



https://www.arch.columbia.edu/research/labs/17-natural-materials-lab

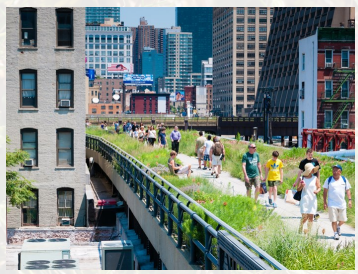
「都市空間は自然を目指す」・・・都市のエコロジープロジェクト



Sean A. Gallagher

Director of Sustainable Design
at Diller Scofidio + Renfro

ニューヨーク・セントラル鉄道の支線の高架部分に建設された2.3kmに及ぶ公園、High Lineを設計した建築事務所「Diller Scofidio + Renfro」のサステナブルデザイン担当ディレクター。都市のエコロジーを目指し設計をされました。



http://www.seanagallagher.com/

「FLOAT LAB」・・・環境と共存する建築



Adam Marcus

Director, Variable Projects / Associate Professor, California College of the Arts

AdamはVariable Projectsのディレクターを務めるほか、データの美学を探求するパブリックアートの共同体、Futures Northのパートナーでもあります。またカリフォルニア美術大学のアソシエートプロフェッサーを務めています。



https://www.variableprojects.com/profile

RETURN TO NATURE　「自然回帰からのデザイン発想」

「Bring the farm home」・・・新しい都市型農業の形



Andrew Shearer

CEO Farmshelf

FarmshelfはNewlabを拠点に都市型農業に取り組んでいる企業です。Farmshelfは、「農場を家に持ち帰る」という使命を担っています。農場と食卓の間のギャップを埋め、誰もが必要なときに必要な分だけ収穫することを可能にします。



https://farmshelf.com/

「水辺は都市の環境指標」・・・ハドソン川での環境デザイン



Carrie Roble

Vice President of River Project

海洋生物学のフィールドステーションであるWetlabは、ハドソン川下流域の科学的理解を支援するため、学生、科学者、一般市民のための学習実験室として機能しています。





Siddhartha Hayes

Wetlab Manager of The River Project at Hudson River Park Trust



https://hudsonriverpark.org/activities/river-project-wetlab-at-pier-40/

「先端技術とデザインが集まる地」・・・新たな都市デザインへの挑戦



Adam Lubinsky　※登壇者調整中

PhD, AICP, Managing Principal of WXY

WXYは、ブルックリン・ネイビーヤードの新しいマスタープランを作成し、賞を受賞した都市デザイン会社です。健康的でサステナブルな未来に向けてデザイン提案しています。



https://www.wxystudio.com/about